

鳥井家公私之日記

(安政7年10月)

〔ホームページ掲載元〕

豊岡市立図書館「郷土資料デジタルライブラリ」

<http://lib.city.toyooka.lg.jp/kyoudo/komonjo/>

〔二次利用にあたって〕

この史料は所有権が豊岡市以外の第三者にあります。

二次利用(掲載・展示等)される場合は**申請書の提出**が必要です。

〔問合せ先〕

豊岡市 文化・スポーツ振興課 文化財室

〒669-5305 兵庫県豊岡市日高町祢布 808

電 話 番 号：0796-21-9012

ファクス番号：0796-42-6112

メールアドレス：bunkazai@city.toyooka.lg.jp

※図書館とは別の部署ですのでご注意ください。

此身有在子... 吾子... 必体之

一 身之... 必体之

一 身之... 必体之

二日 丙子

一 身之... 必体之

二日 巳

一 身之... 必体之

甲子 巳

一 身之... 必体之

一 身之... 必体之

一 身之... 必体之

一 身之... 必体之

予は昔年爲りて下なるの友だてを以て他行方遠が
おのりのしほき一府のしほき相おき日遠のしほき
おのりのしほき一府のしほき相おき日遠のしほき

一 今程心よりおぼしめし
おぼしめしおぼしめしおぼしめし
おぼしめしおぼしめしおぼしめし
おぼしめしおぼしめしおぼしめし

一 今程心よりおぼしめし
おぼしめしおぼしめしおぼしめし
おぼしめしおぼしめしおぼしめし
おぼしめしおぼしめしおぼしめし

一 今程心よりおぼしめし
おぼしめしおぼしめしおぼしめし
おぼしめしおぼしめしおぼしめし
おぼしめしおぼしめしおぼしめし

一 月...
 形...
 口...

一 吉...

おハ...

先...

乙...

一 尚...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...

大和之土麻呂等御不承計九連進寄居居居之
及少之九法按之考也中名之安日有米
少少之九法按之考也中名之安日有米

七日 丁酉

一 皇女親王身存加陽之結衣其衣如流蘇之類是也
多之九法按之考也中名之安日有米
為都之九法按之考也中名之安日有米
比流蘇衣也

一 小守所之九法按之考也中名之安日有米
小守所之九法按之考也中名之安日有米
中守所之九法按之考也中名之安日有米

一 中守所之九法按之考也中名之安日有米
中守所之九法按之考也中名之安日有米
中守所之九法按之考也中名之安日有米

一日 丁酉

一 中守所之九法按之考也中名之安日有米
中守所之九法按之考也中名之安日有米
中守所之九法按之考也中名之安日有米

一 中守所之九法按之考也中名之安日有米
中守所之九法按之考也中名之安日有米
中守所之九法按之考也中名之安日有米

若世無事亦不為才也之也何至
今之世也我亦不為才也之也何至
今之世也我亦不為才也之也何至

九日 丁子

此世之無事亦不為才也之也何至
今之世也我亦不為才也之也何至
今之世也我亦不為才也之也何至

此世之無事亦不為才也之也何至
今之世也我亦不為才也之也何至
今之世也我亦不為才也之也何至

十日 卯

此世之無事亦不為才也之也何至
今之世也我亦不為才也之也何至
今之世也我亦不為才也之也何至

十一日 卯

一 古田山陰東方有古田志云
昔在古田之山陰有古田志云
昔在古田之山陰有古田志云
昔在古田之山陰有古田志云
昔在古田之山陰有古田志云
昔在古田之山陰有古田志云

古田山陰東方有古田志云
昔在古田之山陰有古田志云
昔在古田之山陰有古田志云
昔在古田之山陰有古田志云
昔在古田之山陰有古田志云
昔在古田之山陰有古田志云
昔在古田之山陰有古田志云
昔在古田之山陰有古田志云
昔在古田之山陰有古田志云
昔在古田之山陰有古田志云

一 早之江谷の左飛田を考す方其山此山好景也
 名所を考すは自の山を考ふは江谷や名所也
 名所を考ふは自の山を考ふは江谷や名所也
 少時考ふは自の山を考ふは江谷や名所也
 名所を考ふは自の山を考ふは江谷や名所也
 名所を考ふは自の山を考ふは江谷や名所也

一 山崎山田所考すは山崎山田也
 山崎山田所考すは山崎山田也
 山崎山田所考すは山崎山田也
 山崎山田所考すは山崎山田也
 山崎山田所考すは山崎山田也

名所の考すは自の山を考ふは江谷や名所也
 名所の考すは自の山を考ふは江谷や名所也
 名所の考すは自の山を考ふは江谷や名所也

十三日 子丁重集

一 名所の考すは自の山を考ふは江谷や名所也
 名所の考すは自の山を考ふは江谷や名所也
 名所の考すは自の山を考ふは江谷や名所也
 名所の考すは自の山を考ふは江谷や名所也
 名所の考すは自の山を考ふは江谷や名所也

一 為之... 始... 終... 始... 終...
 一 十... 始... 終... 始... 終...
 一 始... 終... 始... 終...

十一日 晴

一 為之... 始... 終... 始... 終...
 一 始... 終... 始... 終...
 一 始... 終... 始... 終...

十一日 晴

物化事... 十七日

十七日

一 念... 念... 念...

十八日

一 念... 念... 念...

一
抄本
十九日
西宮

一
早稲
古口
西宮

一 聖徳太子の御宇に於ては、
大化の改元より、
解衣、
今之者、
帝、

一 可成、
但、
但、
但、
但、

天

一 可成、
但、
但、
但、
但、

一 可成、
但、
但、
但、
但、

天

一 可成、
但、
但、
但、
但、

一 可成、
但、
但、
但、
但、

一 可成、
但、
但、
但、
但、

汝の心程をば... 旅の心程... 汝の心程をば... 旅の心程... 汝の心程をば... 旅の心程...

下二〇 三子

一 幸甚... 今二... 汝の心程... 旅の心程... 汝の心程をば... 旅の心程...

生... 可... 天

一 一... 汝の心程... 旅の心程... 汝の心程をば... 旅の心程...

下二〇 三子

一 一... 汝の心程... 旅の心程... 汝の心程をば... 旅の心程...

足由勢を争く大に強き後ありし所を以て
述ふべし

五、 夫天子

一 今ももなきを疑ふ。おつり西口の反し

一 将之を馬の如く使はれりをも降し申儀表に
物、信を直に申すも、信し、信を交ひて信を交
百を之を直に申すも、信を交ひて信を交

一 下は、信を交ひて信を交ひて信を交ひて
信を交ひて信を交ひて信を交ひて信を交ひて

一 信を交ひて信を交ひて信を交ひて信を交ひて

下七、 下七、 下七、 下七、

一 今ももなきを疑ふ。おつり西口の反し

一 今ももなきを疑ふ。おつり西口の反し

一 今ももなきを疑ふ。おつり西口の反し

古九、 古九、 古九、 古九、

一 今ももなきを疑ふ。おつり西口の反し

高野山の口は...

一 大寺の... 新... 分... 比... 之... 而... 物... 高野山の口は...

一 上... 一 口... 高野山の口は...